

報道機関 各位

学校給食の提供によると疑われた腹痛・下痢症状の発症に関してのご報告

この度、9月5日（木）の学校給食の提供によると疑われた腹痛・下痢症状の発症に関しまして、児童生徒並びに保護者の皆様をはじめとする関係者の皆様に多大なるご心配をおかけしました。

本件に関し、昨日、三戸地方保健所から「今回の件は食中毒と取り扱わないこととした」との連絡をいただきました。

学校給食センターは徹底した衛生管理のもと、児童生徒の健康の増進や体位の向上など心身の健康な発達に資するため、安心・安全な給食を提供する責務が課せられているものであります。

「今回、食中毒と取り扱わない」との結果でございましたが、今後、より一層衛生管理の重要性と知識を高め、引き続き、児童生徒に安心・安全な学校給食を提供し続けられるよう尽力してまいります。

また、各小中学校に対しては、本日開催した校長会にて、検食及び手洗い・うがいの励行を徹底するよう指導したところです。

学校給食の再開につきましては、17日（火）からを予定しており、また、給食停止期間の日数に応じ、保護者の皆様には給食の代わりにお弁当を準備していただきましたので、当町学校給食費の単価（小学校@270円、中学校@300円）にて子育て支援学校給食費給付金を交付させていただくことで準備を進めておりますことを併せてご報告いたします。

結びに、学校給食を停止した5日間、給食停止措置へのご理解とお弁当を準備してくださった保護者の皆様並びに様々なご配慮とご支援をいただきました報道機関各位に対しまして、心より感謝を申し上げます。ありがとうございました。

令和6年9月12日

南部町教育委員会

教育長 高橋 力也